

2011年4月8日

報道関係各社 御中

東日本大震災の本会の対応について

東日本大震災で被災された皆様に対し、一般社団法人日本機械学会の松本洋一郎（東京大学教授）会長からの声明を本会ホームページに掲載しました。

東北地方太平洋沖地震に対するメッセージ

2011年3月11日午後2時46分ごろ発生した東北地方太平洋沖地震は、三陸沖を震源とした国内観測史上最大のM9.0という未曾有の大地震であり、津波や建物の倒壊などにより数多くの尊い命が奪われ、甚大な被害を及ぼしました。加えて、福島第一原子力発電所では甚大な事故が発生し、激甚災害に至りました。

この大震災により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災されました会員各位に心からお見舞いを申し上げます。

この度の巨大地震に接し、本会が社会に果たすべき責務を認識し、復興のための活動を行なって参りたいと存じます。

被害を受けている地域の一刻も早い復旧を願い、皆様の生活の安全と安心が確保されることを切にお祈り申し上げます。

2011年3月

一般社団法人日本機械学会
会長 松本洋一郎

本会ではこの度の東北地方太平洋沖地震により引き起こされた大震災に対し、緊急に調査分科会を設置し、日本学術会議などとも連携しつつ、活動を開始しました。

2010年度 日本機械学会賞 決まる！

- 論文・技術・製品など4部門73件を表彰 -

一般社団法人日本機械学会は、2010年度日本機械学会賞をはじめとして以下73件を決定いたしました。日本機械学会賞（技術功績1件、論文16件、技術8件）、日本機械学会奨励賞（研究20件、技術18件）、日本機械学会教育賞（5件）、日本機械学会優秀製品賞（5件）。このうち奨励賞は35歳以下の若手研究者、また優秀製品賞は中堅・中小企業の製品を対象にした賞です。受賞式は2011年4月21日（木）、東京都港区の明治記念館で開催される日本機械学会2010年度（第88期）定時社員総会で行います。

日本機械学会賞

日本機械学会では「日本の機械工学・工業の発展を奨励する」ことを目的に、昭和34年4月の第36期通常総会より毎年、日本機械学会賞の表彰を行っています。2010年度は、日本機械学会賞、同奨励賞、同教育賞、同優秀製品賞の4部門で合計73件の受賞を決定、定時社員総会で表彰します。

日本機械学会賞（技術功績）は「燃費、排気性能に優れたディーゼルエンジンおよびガス燃料エンジンの研究開発」（鈴木雅雄：トヨタ自動車株）、同（論文）は「サブナノメートルの粗さをもつ球面と平面のLennard-Jones表面力による接触特性の数値解析法」（小野京右：株日立製作所）など16件、同（技術）は「微細超深穴加工用ドリルの開発」（赤松猛史：日立ツール株ほか2名）など8件に決定。35歳以下の若手研究者を対象にした日本機械学会奨励賞（研究）は「バイオマイクロアクチュエータの駆動源として応用できる高機能タンパク質モータプレスチンの研究」（熊野峻：株日立製作所）など20件、同（技術）は「GISを利用した災害シミュレーションのモデル化手法の開発」（秋山善克：株日本アムスコ）など18件。また、日本機械学会教育賞は「ロボットを題材とした工学導入教育の実践と普及活動」（安藤吉伸：芝浦工業大学ほか3名）など5件の受賞を決定しました。【受賞者一覧は別紙をご覧ください】

日 時：2011年4月21日（木）15時～17時20分

会 場：明治記念館 富士の間

（東京都港区元赤坂2-2-23、TEL 03-3403-1171(大代表)、JR 信濃町駅徒歩3分）

「オゾンリネン消毒庫」など5製品が受賞

日本機械学会では、2005年度より中堅・中小企業を対象とした日本機械学会優秀製品賞を設けています。同賞は、本学会の特別員（法人会員）企業を対象に、既存技術の工夫や改良、草の根的な技術開発などによって生み出された優れた製品を顕彰することで、わが国のものづくりを幅広く活性化・サポートすることを目的としたものです。6回目の2010年度は、次の5件の受賞を決定しました。

優秀製品賞



オゾンリネン消毒庫 OR-5V

- ・「オゾンリネン消毒庫 ORシリーズ（OR-5V, OR-12）」（株）IHI シバウラ
- ・「超高速応答 極細・極薄熱電対」（株）アンベエスエムティ
- ・「実用型 CNC スリム旋盤シリーズの開発」（高松機械工業株）
- ・「立形マシニングセンタ YMC430」（安田工業株）
- ・「高速リニアサーボ弁」（油研工業株）

次期会長に佐藤順一が内定



日本機械学会の2011年度の会長に（株）IHI 検査計測 代表取締役社長の佐藤順一（さとう・じゅんいち）の就任が内定しました。4月21日の2010年度（第88期）定時社員総会後に就任いたします。

新会長の略歴：1948年生まれ、東京大学大学院修了、1976年に石川島播磨重工業株〔現（株）IHI〕勤務、1999年に同社技術開発本部管理部長、2005年に同社執行役員、2006年に同社取締役・常務執行役員技術開発本部長、2008年から現職。
日本機械学会フェロー。

総会特別企画「GCOEが目指す機械工学の将来像」

工学は独自の方法論で現象を記述することにより、機器の発明、効率化やエネルギーの有効利用などの実践を通じて人類の発展に寄与してきました。機械工学もまた独自の方法論を有して深化・発展してきています。機械工学が対象とする領域も広がり、さらなる総合化や体系化、革新的な機械の創造などが求められる時代に入ってきました。そこで、現在活動中のGCOEのうち4つの拠点から主として研究成果を発表いただき、機械工学の将来像について考えてみることを企画しました。入場無料となりますので、ご参加をお待ちしております。

開催日時：2011年4月21日（木）13時～14時40分

会場：上記同一会場

入場無料（参加人数確認のため、FAXかE-mailでお申し込み下さい。日本機械学会総務グループ宛）

- | | |
|--|---------------|
| 13.00～13.20 『グローバルCOEによる国際的人材育成』 | 東北大学 教授 円山重直 |
| グローバルCOEの様々な人材育成プログラムを通じて、国際的な人材を育成する事例紹介とその成果を紹介する。 | |
| 13.20～13.40 『グローバル時代の博士人材育成』 | 東京大学 教授 光石 衛 |
| グローバル市場や国際交渉のような幅広い国際舞台において、科学技術等の深い専門性と幅広い教養、課題設定・解決能力、骨太な精神力を併せ持った博士人材が求められる。博士人材育成の現状と将来への取組みを示す。 | |
| 13.40～14.00 『衝撃エネルギー工学グローバル先導拠点』 | 熊本大学 教授 秋山秀典 |
| 衝撃エネルギーによって固体、液体、気体、生体に発生する諸現象の解明は、環境保全、資源循環、食品、医療、極限物性などの応用分野にまで裾野が広がっており、極めて幅広い産業創生が期待できる新領域である。 | |
| 14.00～14.20 『グローバル ロボットアカデミア』 | 早稲田大学 教授 藤江正克 |
| 将来、わが国が機械工学を社会の様々な課題に適用し「真の知的社会基盤」へ成長させるために必要な、実践的な国際能力・提案力・実行力を持って機械工学に取り組む若手研究者群の育成に関して講演する。 | |
| 14.20～14.40 『質疑応答』 | |

<ニュースリリースに関するお問い合わせ先>

〒160-0016 東京都新宿区信濃町35番地 信濃町煉瓦館5階
一般社団法人日本機械学会
学会運営部門 会員・情報管理グループ 井上 理
電話（03）5360-3503 / FAX（03）5360-3508
E-mail：inoue@jsme.or.jp

2010年度(平成22年度)日本機械学会賞受賞者

日本機械学会賞(技術功績 1件)

1	燃費、排気性能に優れたディーゼルエンジンおよびガス燃料エンジンの研究開発	鈴木 雅雄	〔トヨタ自動車(株)〕
---	--------------------------------------	-------	-------------

日本機械学会賞(論文 16件)

分野 0: 先端境界領域 1: 材料力学・材料, 弾性・塑性等 2: 熱工学・内燃機関等
3: 流体・水力機械, 空気機械等 4: 機械力学自動制御・計測等
5: 工作・鋳造・塑性加工・溶接 精密・生産管理・要素・機構・潤滑等

(配列は分野別代表者の五十音順)

0部	1	サブナノメートルの粗さをもつ球面と平面の Lennard-Jones 表面力による接触特性の数値解析法 日本機械学会論文集, 76 巻, 764 号, C 編 (2010 年 4 月)	小野 京右	〔(株)日立製作所〕
	2	表面張力を利用した水面移動ロボットの研究 日本機械学会論文集, 75 巻, 751 号, C 編 (2009 年 3 月)	鈴木 健司 小池 裕之 高信 英明 三浦 宏文	〔工学院大学〕 〔トヨタ自動車(株)〕 〔工学院大学〕 〔工学院大学〕
	3	Development of Biomimetic Bearing with Hydrated Materials Journal of Biomechanical Science and Engineering, 4 巻, 2 号 (2010 年 5 月)	中西 義孝 高嶋 樹 日垣 秀彦 下戸 健 梅野 貴俊 三浦 裕正 岩本 幸英	〔熊本大学〕 〔(株)寿エンジニアリング〕 〔九州産業大学〕 〔九州産業大学〕 〔福岡教育大学〕 〔愛媛大学〕 〔九州大学〕
1部	4	柔軟節の回転特性に基づく周期正方セル構造の短波長座屈モード 日本機械学会論文集, 75 巻, 760 号, A 編 (2009 年 12 月)	田中 展 渋谷 陽二	〔東京大学〕 〔大阪大学〕
	5	微細はんだ形状の予測と接続寿命評価への適用 日本機械学会論文集, 74 巻, 747 号, A 編 (2008 年 11 月)	谷江 尚史	〔(株)日立製作所〕
	6	結晶塑性 Phase-Field モデルの構築と塑性変形を伴う微視組織形成過程のシミュレーション 日本機械学会論文集, 75 巻, 760 号, A 編 (2009 年 12 月)	山中 晃徳 高木 知弘 富田 佳宏	〔東京工業大学〕 〔京都工芸繊維大学〕 〔福井工業大学〕
2部	7	噴流床石炭ガス化炉内における溶融スラグ飛散現象の発生条件 日本機械学会論文集, 75 巻, 756 号, B 編 (2009 年 8 月)	犬丸 淳 渡邊 裕章 大高 円 芦沢 正美 市川 和芳	〔(財)電力中央研究所〕 〔(財)電力中央研究所〕 〔(財)電力中央研究所〕 〔(財)電力中央研究所〕 〔(財)電力中央研究所〕
	8	Micro Optical Viscosity Sensor for in situ Measurement Based on a Laser-Induced Capillary Wave Journal of Thermal Science and Technology, 4 巻, 1 号 (2009 年 4 月)	田口 良広 長町 隆介 長坂 雄次	〔慶應義塾大学〕 〔大日本印刷(株)〕 〔慶應義塾大学〕
3部	9	気泡流モデルキャビテーション流れ解析による遠心ポンプ内のキャビテーション強さおよびエロージョン発生領域の予測 日本機械学会論文集, 74 巻, 746 号, B 編 (2008 年 10 月)	深谷 征史 田村 善昭 松本 洋一郎	〔(株)日立製作所〕 〔東洋大学〕 〔東京大学〕
	10	キャピラリージェット形状を利用した動的表面張力の測定法(第2報,動的表面張力の測定) 日本機械学会論文集, 76 巻, 762 号, B 編 (2010 年 2 月)	脇本 辰郎 加藤 健司 谷 俊也	〔大阪市立大学〕 〔大阪市立大学〕 〔(株)クボタ〕
4部	11	アクティブ遮音制御におけるアクチュエータ配置法 日本機械学会論文集, 75 巻, 758 号, C 編 (2009 年 10 月)	眞田 明 東山 孝治 田中 信雄	〔岡山県工業技術センター〕 〔倉敷化工(株)〕 〔首都大学東京〕

4部	12	ATカット水晶振動子による小型荷重センサの設計と製作 日本機械学会論文集, 75巻, 755号, C編 (2009年7月)	鳴海 圭亮 朝倉 歩 林 育菁 福田 敏男 新井 史人	〔東北大学〕 〔東北大学〕 〔東北大学〕 〔名古屋大学〕 〔名古屋大学〕
	13	ライフマスクを用いた顔口ロボットによる動的表情表出 日本機械学会論文集, 75巻, 749号, C編 (2009年1月)	橋本 卓弥 平松 幸男 辻 俊明 小林 宏	〔東京理科大学〕 〔トヨタ自動車(株)〕 〔埼玉大学〕 〔東京理科大学〕
	14	ファンデルポール型自励発振を用いた AFM カンチレバーの振幅制御 日本機械学会論文集, 73巻, 732号, C編 (2007年8月)	林 圭一 芦田 極 藪野 浩司 黒田 雅治	〔(株)小松製作所〕 〔(独)産業技術総合研究所〕 〔慶應義塾大学〕 〔(独)産業技術総合研究所〕
5部	15	可変ブランクホルダー力による角筒深絞り加工 日本機械学会論文集, 76巻, 766号, C編 (2010年6月)	北山 哲士 濱野 智史 山崎 光悦 久保 達男 西川 輝 木下 洋	〔金沢大学〕 〔金沢大学〕*1 〔金沢大学〕 〔(株)小松製作所〕*2 〔コマツ産機(株)〕 〔コマツ産機(株)〕
	16	回転角制御機能を備えた流体駆動スピンドルの開発と回転角制御 日本機械学会論文集, 76巻, 763号, C編 (2010年3月)	中尾 陽一 浅岡 直哉 藤本 政良	〔神奈川大学〕 〔トヨタ自動車(株)〕 〔(株)ディスコ〕

*1(現)YKK(株), *2(現)コマツ産機(株)

日本機械学会賞(技術 8件)

(配列は代表者の五十音順)

1	微細超深穴加工用ドリルの開発	日立ツール(株) " "	赤松 猛史 吉村 彰 木野 晴喜
2	テーラーメイド超精密手術シミュレーションロボットの開発と事業化	ファイン・バイオメディカル(有) 名古屋大学	池田 誠一 福田 敏男
3	建設機械用ハイブリッドシステムの開発	(株)小松製作所 " " " "	井上 宏昭 新垣 淑隆 遠藤 真義 千葉 貞一郎 森永 淳
4	心地よい音を実現するデザイン技術開発と製品適用	(株)東芝 " 東芝ホームアプライアンス(株) 東京大学	大富 浩一 穂坂 倫佳 岩田 宜之 柳澤 秀吉
5	営業車両において常時脱線係数を測定できる台車とそれを用いた脱線係数監視システムの開発	東京地下鉄(株) (元)(独)交通安全環境研究所 (独)交通安全環境研究所 住友金属工業(株) 住友金属テクノロジー(株)	清水 忠 松本 陽 大野 寛之 佐藤 與志 谷本 益久
6	びびり振動検知/自動回避機能を有する知能化加工システムの開発	オークマ(株) " " " "	千田 治光 稲垣 浩 上野 浩 浜口 顕秀 山下 守
7	低燃費を実現した変速比幅の大きい超小型副変速機付CVTの開発	ジヤトコ(株) " " " 日産自動車(株)	中野 晴久 田中 寛康 斎藤 寿 海野 剛弘 遠田 謙
8	ロール・ツー・ロール搬送方式を用いた超広幅液晶用光学フィルムの製造プロセス	富士フィルム(株) " 富士フィルムオプトリアルティ(株) 富士フィルム(株) 東海大学	疋田 伸治 藤倉 大介 名和野 隆 佐々木 格 橋本 巨

日本機械学会奨励賞（研究 20件）

分野

0: 先端境界領域 1: 材料力学・材料, 弾性・塑性等 2: 熱工学・内燃機関等
3: 流体・水力機械, 空気機械等 4: 機械力学自動制御・計測等
5: 工作・鋳造・塑性加工・溶接 精密・生産管理・要素・機構・潤滑等

(配列は分野別受賞者の五十音順)

0部	1	バイオマイクロアクチュエータの駆動源として応用できる高機能タンパク質モータプレスチンの研究	熊野 峻	〔(株)日立製作所〕
	2	三次元培養およびマイクロ流体デバイスによる肝臓再生のバイオメカニクスの研究	須藤 亮	〔慶應義塾大学〕
1部	3	周期セル状材料の微視的座屈解析のための均質化理論の構築とその応用の研究	奥村 大	〔名古屋大学〕
	4	転位と水素の相互作用に着目した水素脆化の研究	武富 紳也	〔京都大学〕*3
	5	ナノ界面/構造を制御したカーボンナノチューブ複合材料の作製と破壊機構の解明に関する研究	山本 剛	〔東北大学〕
2部	6	回転流中の予混合火炎の研究	下栗 大右	〔広島大学〕
	7	MEMS伝熱面を用いたサブクール沸騰気泡の成長と崩壊の研究	丹下 学	〔芝浦工業大学〕
	8	Siナノトランジスタにおける電子・結晶系エネルギー非平衡性を考慮した支配長の研究	畠山 友行	〔富山県立大学〕
	9	蛍光ナノ粒子の気相燃焼合成法の研究	横森 剛	〔慶應義塾大学〕
3部	10	気液および気固界面が存在する場合の界面を通しての物質移動機構の研究	丹野 賢二	〔(財)電力中央研究所〕
	11	量子・分子流体科学に基づくナノ材料の機能発現に関する理論研究	土井 謙太郎	〔大阪大学〕
	12	風洞試験による空力音源同定手法の研究	山崎 展博	〔(財)鉄道総合技術研究所〕
	13	流れと音の直接計算を用いたキャピティ音発生機構の研究	横山 博史	〔豊橋技術科学大学〕
4部	14	大変形・大変位を伴うテザードシステムの運動と制御の研究	竹原 昭一郎	〔首都大学東京〕
	15	ヒト皮膚構造に基づく触知覚原理を活用した触覚センシングの研究	田中 由浩	〔名古屋工業大学〕
	16	動吸振器を用いた機械システムに発生する自励振動抑制の研究	中野 寛	〔東京工業大学〕
	17	局所的な異方性を有する繊維強化複合材料の解析と最適設計の研究	本田 真也	〔北海道大学〕
	18	人間の運動に関するウェアラブルなセンサシステムの研究	劉 涛	〔高知工科大学〕
5部	19	シャフトドライブCVT用ゼロスピンドディスクの研究	成田 幸仁	〔室蘭工業大学〕
	20	超多自由度ロボットの冗長性活用制御の研究	松浦 大輔	〔オハイオ州立大学〕

*3(現)佐賀大学

日本機械学会奨励賞（技術 18件）

(配列は受賞者の五十音順)

1	G I Sを利用した災害シミュレーションのモデル化手法の開発	秋山 善克	〔(株)日本アムスコ〕
2	環境変化に対してロバストな磁気ヘッドスライダ熱式浮上量制御技術の開発	大久保 諭	〔(株)日立製作所〕
3	動的負荷に対する電子機器の設計・評価技術の開発	大森 隆広	〔(株)東芝〕
4	マイクロ流体デバイスによる物質生成均一化技術の開発	片山 絵里香	〔(株)日立製作所〕
5	自励振動現象に伴う渦構造の実験による客観的な抽出と制御方法の開発	河合 勇太	〔愛三工業(株)〕
6	可変動弁を備えた筒内噴射式ガソリン機関の燃費低減技術の開発	熊野 賢吾	〔(株)日立製作所〕
7	成形法による繊維分布の影響を考慮した繊維強化樹脂複合材の機械特性評価技術の開発	澤田 貴彦	〔(株)日立製作所〕
8	プラント内構造物簡易計測システムの開発	菅野 敦庸	〔(株)日立製作所〕
9	耐震試験用振動試験機における加速度波形再現性を目指した制御技術の開発	関 健太	〔名古屋工業大学〕
10	高熱負荷対向材料に対する赤外熱画像を用いた高性能非破壊検査システムの開発	関 洋治	〔(独)日本原子力研究開発機構〕
11	電子機器の高発熱・高密度実装化に対応した小型熱輸送デバイスの開発	高松 伴直	〔(株)東芝〕
12	プロペラファンの翼端流れ挙動と騒音の関係解明に基づく低騒音化技術の開発	中島 誠治	〔三菱電機(株)〕
13	Slider-Disk間キャパシタンス測定によるHDD Shock評価手法の開発	西田 辰彦	〔日本発条(株)〕
14	ファンフィルタユニット用薄型遠心ファンの開発	本多 武史	〔(株)日立製作所〕
15	高圧ガス中における遠心圧縮機羽根車の固有振動数予測技術の開発	真柄 洋平	〔(株)日立製作所〕
16	多種サイズ紙幣の分離安定化技術の開発	三山 敏史	〔(株)日立製作所〕
17	ユニバーサルデザインエスカレータの開発	吉田 雅人	〔東芝エレベータ(株)〕
18	低レアメタル含有高温用しゅう動材料の開発	義久 順一	〔(株)I H I〕

日本機械学会教育賞（5件）

（配列は代表者の五十音順）

1	<p>ロボットを題材とした 工学導入教育の実践と普及活動</p>	<p>安藤 吉伸〔芝浦工業大学〕 水川 真〔芝浦工業大学〕 春日 智恵〔芝浦工業大学〕 吉見 卓〔芝浦工業大学〕</p>
2	<p>複合システムデザインのためのX型人材育成</p>	<p>グループ名 大阪大学大学院工学研究科機械工学専攻 代表者 田中 敏嗣〔大阪大学〕</p>
3	<p>産学連携教育による 実践的技術者育成教育の推進</p>	<p>グループ名 一関工業高等専門学校CO-OP教育担当教員 代表者 丹野 浩一〔一関工業高等専門学校〕</p>
4	<p>セミナー「自動車の運動力学」の継続開催</p>	<p>藤岡 健彦〔東京大学〕 景山 一郎〔日本大学〕</p>
5	<p>産学連携による若手技術者を主体とした 早期工学人材育成プログラム開発</p>	<p>グループ名 早期工学人材育成事業推進委員会 代表者 森下 信〔横浜国立大学〕</p>

2011年3月29日

正員諸君

東京都新宿区信濃町35番地
一般社団法人 日本機械学会
会長 松本 洋一郎

一般社団法人日本機械学会 第88期定時社員総会招集ご通知

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、本会第88期定時社員総会を下記により開催致しますので、お繰り合わせご出席願いたく、この段ご通知申し上げます。

敬具

記

定時社員総会

日時 2011年4月21日(木) 15時00分～17時20分
会場 明治記念館(東京都港区元赤坂2-2-23 TEL 03-3403-1171(大代表))

議案 1. 第88期 事業報告の件 4. 第89期 事業計画の件
2. 第88期 会計報告の件 5. 第89期 事業予算の件
3. 名誉員推薦の件 6. 第89期 理事、監事選出の件

挨拶 新旧会長
表彰 1. 名誉員推薦状および名誉員章の贈呈
2. 日本機械学会賞の贈呈

会員パーティ

東北地方太平洋沖地震の状況を鑑み中止と致します。

総会特別企画

「GCOEが目指す機械工学の将来像」



JR 中央・総武線 信濃町駅より徒歩3分

2011年4月21日(木) 13時～14時40分 総会同一会場(入場無料)

参加人数確認のため、FAXかE-mailでお申し込み下さい。 日本機械学会総務グループ宛 FAX 03-5360-3508, E-mail general@jsme.or.jp

趣旨 工学は独自の的方法論で現象を記述することにより、機器の発明、効率化やエネルギーの有効利用などの実践を通じて人類の発展に寄与してきました。機械工学もまた独自の的方法論を有して深化・発展してきています。機械工学が対象とする領域も広がり、さらなる総合化や体系化、革新的な機械の創造などが求められる時代に入ってきました。そこで、現在活動中のGCOEのうち4つの拠点から主として研究成果を発表いただき、機械工学の将来像について考えてみることを企画しました。

講演 司会 庶務理事 成田 吉弘(北海道大学)

13.00～13.20 『グローバルCOEによる国際的人材育成』
グローバルCOEの様々な人材育成プログラムを通じて、国際的な人材を育成する事例紹介とその成果を紹介する。

東北大学 教授 円山 重直

13.20～13.40 『グローバル時代の博士人材育成』
グローバル市場や国際交渉のような幅広い国際舞台において、科学技術等の深い専門性と幅広い教養、課題設定・解決能力、骨太な精神力を併せ持った博士人材が求められる。博士人材育成の現状と将来への取組みを示す。

東京大学 教授 光石 衛

13.40～14.00 『衝撃エネルギー工学グローバル先導拠点』
衝撃エネルギーによって固体、液体、気体、生体に発生する諸現象の解明は、環境保全、資源循環、食品、医療、極限物性などの応用分野にまで裾野が広がっており、極めて幅広い産業創生が期待できる新領域である。

熊本大学 教授 秋山 秀典

14.00～14.20 『グローバル ロボットアカデミア』
将来、わが国が機械工学を社会の様々な課題に適用し「真の知的社会基盤」へ成長させるために必要な、実践的な国際能力・提案力・実行力を持って機械工学に取り組む若手研究者群の育成に関して講演する。

早稲田大学 教授 藤江 正克

14.20～14.40 『質疑応答』 : 上記講演者

8月7日は機械の日、8月1日～7日は機械週間です。

2011 年度 機械の日・機械週間 絵画コンテストのご案内 夢の機械・キカイ，未来の機械・キカイを絵に描いてみよう！

日本機械学会では、みんなのちかくにある「機械・キカイ」について、もっとかんがえてもらうため、機械（キカイ）の「絵画コンテスト」を開催します。みんながかんがえた「未来の機械・キカイ」や「夢の機械・キカイ」を自由にかいておくってください。「おおきくなったらこんな機械ができたらいいな」とか「おとなになったらこんな機械をつくってみたい」とか、皆さんのかんがえた「夢の機械・キカイ，未来の機械・キカイ」をまっています！

コンテストの優秀者は8月7日の「機械の日」記念行事の中で表彰をおこないます。また、応募作品は機械の日・機械週間ポスター，チラシなどに利用し，機械の日記念行事会場にて展示会を予定しています。

< 応募方法 >

テーマ 未来の機械・キカイ，夢の機械・キカイについてならなんでも結構です。

応募規定 自分でかいた未発表の作品にかぎります。(共作不可)

- ・作品の大きさは A3 サイズ (297 × 420 ミリ) または四つ切 (380 × 540 ミリ) サイズの画用紙 (1 名につき 1 作品の応募に限ります) 。
- ・イラスト，スケッチなど表現方法，画材は自由です。コンピュータグラフィックスでの応募の場合は A3 サイズの用紙に印刷し，あわせてデータ (JPEG，GIF，BMP) でも提出してください。
- ・応募作品の裏に氏名とタイトル，絵のせつめいをかいてください (絵のせつめいは別紙でもけっこうです) 。

応募資格 幼児から高校生 (高専生 1 ~ 3 年) まで

応募締切 2011 年 4 月 30 日 (土) 消印有効

送り先 〒160-0016 東京都新宿区信濃町 35 番地 信濃町煉瓦館 5 階
一般社団法人日本機械学会 機械の日絵画コンテスト係宛

作品とともに以下の内容の応募用紙を同封してください。

氏名 (ふりがな)，住所・TEL/FAX，学校名，学年，年齢，中学生以下の方は保護者名も記入してください (本会ジュニア会友の場合は会員 No. を，また親御さんが会員の場合，親御さんの会員 No. も記入してください) 。

応募用紙 本会ホームページ <http://www.jsme.or.jp/kikainohi/kaiga2011/> より印刷願います。

< 表彰について >

応募作品にて審査を行い，優秀賞を数件選びます。優秀賞に選ばれた方は，8 月 7 日機械の日記念行事にて表彰します (会場は大阪科学技術センター，大阪市西区靱本町 1-8-4)。優秀賞受賞者の方へは，7 月中旬頃までに直接ご連絡します。

< 副 賞 >

天体望遠鏡などを予定しています。

< お問い合わせ >

わからないことがありましたら，電話 (03) 5360-3503 日本機械学会機械の日絵画コンテスト係へ電話でお問い合わせください。

< 作品、個人情報の取扱いについて >

応募作品の返却はいたしません。応募作品の著作権は本会のものとし，応募作品の用途やレイアウトは本会に一任いただきます (応募作品は本会ならびに機械の日協賛団体の機械の日および各種事業において利用することがあります。その際，学校名，学年，氏名を明記することがあります)。また，応募作品ならびに表彰式の模様は本会ならびに機械の日協賛団体の HP，会誌他関連事業にて掲載・利用する場合があります。あらかじめご了承ください。なお，応募の際にいただいた個人情報については今回のコンクール関連以外での目的には利用をいたしません。